

こっこめ通信 11 2015

「どこまで行くの？」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

10月下旬に気象庁が発表した向こう3か月の天候の見通しによれば、冬型の気圧配置が続かず気温は高く、低気圧や前線の影響を受けやすく降水量は平年並みか多いと予報が出ています。また、エルニーニョ現象が続き、日付変更線付近に積乱雲の発生が多いとの予報も出ているので、台風の心配はまだまだ続きそうですね。

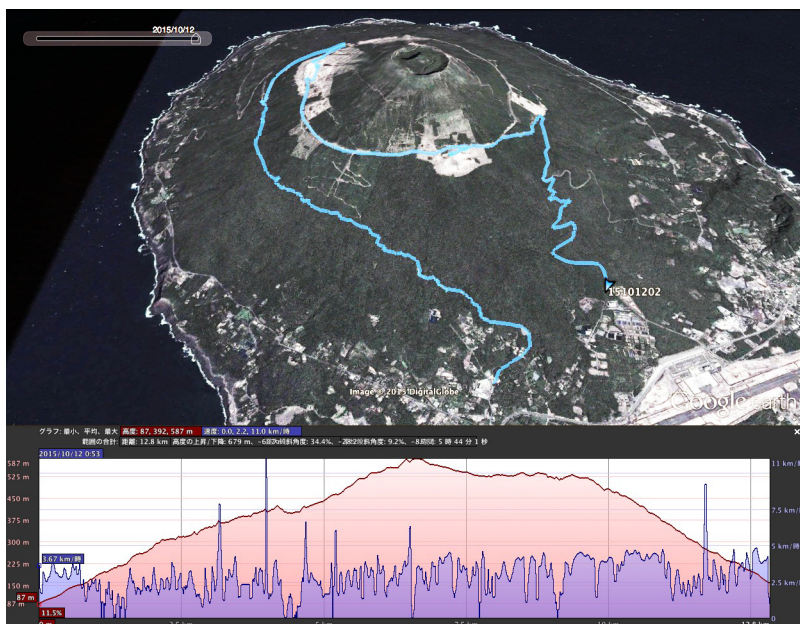
公園内では、ツツブキの花が咲き始め、キダチアロエの花芽も見えてきました。八丈富士裾野ハイキング中にはイズノシマダイヤモンドソウの花も見つけました。暖かな日もありますが、八丈島でも冬の足音が聞こえてきています。

さて今回は、「八丈富士裾野ハイキング」「アサギマダラのマーキング調査」のお話です。

八丈富士裾野ハイキング

環境省では、毎年10月の1か月間を「全国・自然歩道を歩こう月間」と主唱し、多くの人々が全国の長距離自然歩道をはじめ自然や文化に恵まれた自然歩道を歩くことを通じて、自然とふれあい、自然への理解を深めることを目的とした各種行事を都道府県等との協力のもと実施しています。

これに合わせ、八丈ビジターセンターでも毎年ハイキングの行事を企画・開催しています。今年は10月12日体育の日に「八丈富士裾野ハイキング」を開催しました。当初は富士環状林道を一周する予定でしたが、工事のため、途中から永郷富士山線に入り、鉢巻き道路、富士縦断林道を歩くコースに変更となりました。左の図



は、歩いたコース（画像）と標高差（赤いグラフ）・歩行スピード（青いグラフ）です。歩いた距離が12.8km、標高差は約500mと運動量は多くなってしまいましたが、暑くもなく、寒くもなく、快適なハイキング日和が幸いし、7名の参加者（写真下左）には楽しんでもらえたようです。

富士環状林道沿いにはハチジョウアザミがたくさん咲き、渡りをするアサギマダラやホシホウジャクが蜜を求めて近くを飛んでいました。アサギマダラは非常に多く、見かけた回数をカウントしたところ36回にもなっています。また、ミツバアケビ（写真下中）やムベの実もたくさんありました。

ビジターセンターでは、年に数回このような行事を開催しています。次回はいっしょに歩きませんか？



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

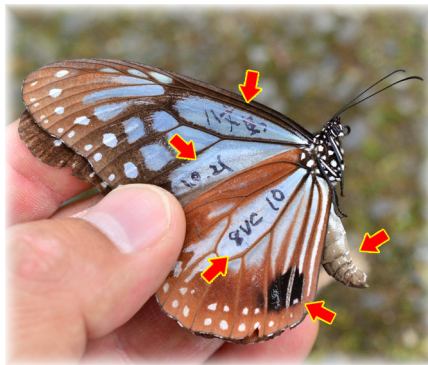
アサギマダラのマーキング調査

春に南から北へ、秋には北から南へ移動するアサギマダラというチョウがいます。この移動を解明するため、アサギマダラの翅にマークを付けて放つ「マーキング調査」がいろいろな場所で行われています。以前、八丈島でも清 邦彦氏により、大阪府池田市から八丈島に渡ってきた 1 個体と、八丈島から鹿児島県喜界島百之台公園に渡った 2 個体が記録されています（こっこめ通信 2009 年 12 月号で詳しく紹介）。

例年、八丈島で確認されるアサギマダラは、翅が破れたり、傷ついているものが多いのですが、今年見られる個体は鱗粉は少なくなっているものの、翅の状態が良好です。そこで、ビジターセンターとしてマーキング調査を行い、八丈島からいったいどこまで飛んでいくのか？どこに辿り着くのか？を調べることにしました。

主な採集場所は三原林道・こん沢林道・富士環状林道・防衛道路など。ハチジョウアザミに留まるアサギマダラ（写真右）を採集し、上翅に「八丈島・日付」、後翅に「8VC 個体番号」を記入後（写真下左）、放蝶しました。採集時、雌雄と前翅長、翅の状態も確認しています。オスは後翅に黒い斑があり腹部が薄茶色（写真下中）、メスは斑が無く腹部は白（写真下右）なことで見分けられます。今年は、オス 12 頭、メス 13 頭の 25 頭を採集し、24 頭にマーキングを行いました（8vc 21 は、清さんの「SEI-5」マーキングがあったため、追記せず。清さんは今年も 12 頭にマーキングをしたということです）。下表がビジターセンターで採集・放蝶した詳細です。

いったいどこで見つかるか？再捕獲の情報が届くことを祈っています。



2015 年アサギマダラマーキング記録（八丈ビジターセンター記録）

マーク	日付	時間	場所	緯度経度	標高	天気	性別	前翅	備考
8VC 01	10/19	10:18	三原林道	33 度 6 分 36.8 秒 139 度 48 分 49.5 秒	155m	晴	♀	63mm	
8VC 02		10:43		33 度 6 分 25.3 秒 139 度 49 分 27.8 秒	324m	晴	♂	55mm	
8VC 03		11:32		33 度 6 分 21.1 秒 139 度 49 分 33.5 秒	347m	晴	♀	55mm	後翅に破れ
8VC 04		11:36		33 度 4 分 54.4 秒 139 度 48 分 40.3 秒	389m	晴	♂	57mm	
8VC 05	10/21	10:14	環状林道	33 度 8 分 4.2 秒 139 度 45 分 2.8 秒	395m	曇	♀	63mm	
8VC 06		10:57		33 度 7 分 40.0 秒 139 度 45 分 25.1 秒	322m	曇	♂	55mm	10/23 八丈島で再捕獲 (SEI 追記)
8VC 07		11:09		33 度 7 分 39.4 秒 139 度 45 分 28.7 秒	320m	曇	♀	61mm	
8VC 08		11:24		33 度 7 分 36.6 秒 139 度 45 分 32.7 秒	307m	曇	♀	60mm	
8VC 09		11:32		33 度 7 分 34.5 秒 139 度 45 分 37.9 秒	306m	曇	♂	55mm	
8VC 10		11:38		33 度 7 分 33.9 秒 139 度 45 分 38.6 秒	302m	曇	♂	56mm	
8VC 11		11:42		33 度 7 分 33.9 秒 139 度 45 分 38.6 秒	302m	曇	♂	54mm	
8VC 12		11:53		33 度 7 分 27.3 秒 139 度 45 分 46.1 秒	256m	晴	♀	59mm	上翅に穴、後翅に破れ
8VC 13		11:59		33 度 7 分 26.2 秒 139 度 45 分 50.6 秒	245m	曇	♂	57mm	後翅に破れ
8VC 14		16:07		33 度 7 分 33.4 秒 139 度 45 分 38.5 秒	299m	曇	♀	60mm	上翅・後翅に破れ
8VC 15	10/22	13:44	無線の道	33 度 5 分 42.5 秒 139 度 48 分 2.8 秒	386m	晴	♀	50mm	後翅に破れ
8VC 16		13:51		33 度 5 分 39.9 秒 139 度 48 分 4.1 秒	399m	晴	♀	61mm	
8VC 17		15:14	環状林道	33 度 7 分 30.8 秒 139 度 45 分 40.6 秒	281m	晴	♂	54mm	
8VC 18		15:40		33 度 7 分 25.9 秒 139 度 45 分 51.5 秒	243m	晴	♀	61mm	10/23 八丈島で再捕獲 (SEI 追記)
8VC 19	10/23	14:20	三原林道	33 度 6 分 17.5 秒 139 度 49 分 34.6 秒	382m	曇	♀	59mm	右上後翅、左後翅に破れ
8VC 20	10/24	11:30	環状林道	33 度 7 分 27.2 秒 139 度 45 分 46.2 秒	255m	曇	♂	55mm	右上翅・右後翅に穴
		11:14		33 度 7 分 31.6 秒 139 度 45 分 41.3 秒	289m	曇	♀		八丈 SEI-5 10/23 のマーキング
8VC 22		11:19		33 度 7 分 32.1 秒 139 度 45 分 40.8 秒	292m	曇	♂	52mm	右後翅・左後翅に破れ
8VC 23		11:27		33 度 7 分 34.6 秒 139 度 45 分 36.3 秒	306m	曇	♂	56mm	
8VC 24		11:38		33 度 7 分 30.9 秒 139 度 45 分 40.8 秒	283m	曇	♂	56mm	左上翅に穴
8VC 25	10/25	11:00	植物公園	33 度 6 分 34.5 秒 139 度 47 分 6.1 秒	63m	晴	♀	58mm	右上翅大きな破れ

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 10 月 11 日 (13 時 30 分～ 15 時) に行いました。

八丈植物公園季節調査 (平成 27 年第 10 回) 参加者: 沖山、沖山、VC 菊池

NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
草本			35	ツルソバ	花	16	ハチジョウキブシ	実
1	アオツヅラフジ	実	36	ツワブキ	蕾	17	ヒサカキ	実
2	アオノクマタケラン	実	37	テンツキ	実	18	ヒメユズリハ	実
3	アキノノゲシ	花	38	トウバナ	花と実	19	ホウライカズラ	実の虫こぶ
4	アシタバ	実	39	ナキリスゲ	実	20	ホルトノキ	実
5	アメリカスズメノヒエ	実	40	ネズミノオ	実	21	ミツバアケビ	実
6	イガガヤツリ	実	41	ノシラン	若い実	22	ヤブツバキ	実
7	イヌガラシ	花と実	42	ハイメドハギ	花	23	ヤブニッケイ	実
8	イヌタデ	花	43	ハチジョウアザミ	花、盛り	シダ植物		
9	イワニガナ	花	44	ヒナギキョウ	花と実	1	ウチワゴケ	
10	ウスベニニガナ	花	45	ヒナタイノコヅチ	実	2	オオイタチシダ	
11	ウリクサ	花	46	ヒメクグ	実	3	オオタニワタリ	
12	エダウチチヂミザサ	花	47	ヒメムカシヨモギ	花と実	4	オニヤブソテツ	
13	オオバコ	実	48	フウトウカズラ	若い実	5	スギナ	
14	オニタビラコ	花	49	ベニバナボロギク	花	6	タチクラマゴケ	
15	オヒシバ	実	50	ホソバツルメヒシバ	実	7	タチシノブ	
16	オムナグサ	蕾	51	メヒシバ	実	8	タマシダ	
17	カタバミ	花と実	52	メリケンカルカヤ	蕾	9	ナチシケシダ	
18	カヤツリグサ	実	木本			10	ノキシノブ	
19	カラムシ	実	1	アオキ	実	11	ハカタシダ	
20	キツネノマゴ	花と実	2	アカメガシワ	若い実	12	ハチジョウカナワラビ	
21	キンゴジカ	花と実	3	イヌビワ	実	13	ハチジョウベニシダ	
22	クズ	実	4	オオバヤシャブシ	実	14	ヒトツバ	
23	コニシキソウ	実	5	オオムラサキシキブ	実	15	ホシダ	
24	コブナグサ	蕾	6	ガクアジサイ	実	16	ホラシノブ	
25	コミカンソウ	花と実	7	カラスザンショウ	実	17	ミゾシダ	
26	コメヒシバ	花と実	8	サカキカズラ	蕾	18	ヤマイトチシダ	
27	シチトウスミレ	実	9	シチトウタラノキ	若い実	19	ワラビ	
28	シマスズメノヒエ	実	10	シマクサギ	花と実	今回はシダ植物 19 種を含む 94 種の植物を観察しました。秋が深まり、いろいろな植物の実が更に目立ってきました。		
29	ススキ sp.	花	11	シマモクセイ	蕾			
30	セイヨウタンポポ	花と実	12	シロダモ	蕾			
31	センニンソウ	若い実	13	テイカカズラ	実			
32	タチスズメノヒエ	実	14	トベラ	実			
33	チヂミザサ	花	15	ハゼノキ	実			
34	ツユクサ	花						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園でも見つけた「クロマダラソテツシジミ」にスポットを当ててみたいと思います。



クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

シジミチョウ科、かつては国内で生息していませんでしたが、最近では南西諸島や九州南部に定着しています。

八丈島では、2015 年に島内各地区で確認されています。幼虫の食草はソテツで、若い葉の食害が目立っています。今年だけなのか？定着してしまうのか？今後の動向が気になります。

2015 11

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
1 ガイドウォーク 09:29 02:31 20:09 14:48	2	3 ガイドウォーク 11:36 04:10 21:59 17:23	4	5	6	7 ガイドウォーク 03:02 08:52 15:17 21:48
立冬 8 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 03:53 09:39 15:48 22:18	9	10 05:12 10:52 16:42 23:15	11 05:47 11:24 17:08 23:44	12 06:21 11:55 17:35	13 06:55 00:14 18:02 12:26	14 ガイドウォーク 07:31 00:46 18:31 12:59
15 ガイドウォーク 秋の特別行事 「鴨川林道自然観察会」 08:10 01:20 19:02 13:34	16	17 09:44 02:40 20:21 15:08	18 10:44 03:30 21:24 16:22	19 11:54 04:33 23:03 18:01	20 05:50 13:02 19:29	21 ガイドウォーク 00:59 07:11 13:59 20:31
22 ガイドウォーク	小雪 23 ガイドウォーク 03:39 09:25 15:28 22:05	24 04:37 10:17 16:08 22:48	25 05:28 11:05 16:47 23:30	26 06:16 11:49 17:24	27 07:01 00:11 18:02 12:30	28 ガイドウォーク 八丈学講座 「タネを調べよう」 07:44 00:52 18:38 13:11
29 ガイドウォーク 08:26 01:31 19:14 13:51	30 09:07 02:10 19:52 14:34			この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります		

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
11/8（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

東京文化財ウィーク企画事業 「鴨川林道自然観察会」

東京文化財ウィークの企画事業として、ヘゴ自生北限地を巡り、八丈島らしい自然を楽しみます。
11/15（9:30～ 約6時間） 小学生以上（低学年は保護者同伴）
ビジターセンター集合・解散 参加費：500円（保険代） 定員：20名

八丈学講座 「タネを調べよう」

毎月行っている八丈学講座。いつのまにかくっついていく「ひっつき虫」はどうしてひっつくのか？
11/28（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2015.11.1 第174号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

綺麗なアサギマダラの翅にペンでマーキングをすることに少し抵抗がありました。しかし、「この先この子はどんな旅を続けるのか？八丈島の先に見えるのは何処なのか？」を教えてほしくてマーキングさせてもらいました。旅立ったアサギマダラの無事を祈っています。（高）